

日本クリスチャン・アシュラム連盟

夏季号

開 心  
静 聴  
充 満  
献 身  
奉 仕

# 日本アシュラム

United Christian Ashrams of Japan

Summer 1975

## 回心とは何か

スタンレー・ジョーンズ

「心をいれかえて幼な子のように  
ならなければ、天国に入ることはで  
きないであろう」とイエスが言われ  
ました。インドの偉大なる詩人哲学  
者タゴールは、この聖句を聖書中最  
も美しい一節であると言いました。  
しかし回心とは何でしょう。コンバ  
ーションのコンは「と共に」パーテ  
アは「向きを変える（ターンする）  
」という原語から来しました。つまり  
「誰かと共に向きを変える」こと  
です。人生の大問題は「キリストの  
方に向いているのは私の顔か背中か」  
であります。新生活の第一歩は古い  
生活に背を向け、キリストに顔を向  
けることです。あなたが独りでそれ  
をするのではなく、誰か「と共に」  
するのです。あなたの意志を主の方  
向に投げる瞬間に主はあなたと共に  
おられます。主はあなたのできない  
（古い生活との縁切り）を助けて下  
さいます。しかしその転向の決断は  
あなたの決心によります。そこにあ  
なたは独り立ち、自由な道德的存在  
として独りで厳粛に独りでその決断  
をするのです。しかしあなたがそれ

をする瞬間に主はあなた「と共に」  
おられるのです。

第二に「幼な子のようになる」つ  
まり新しい霊を得なければなりません。  
あなたは新霊、即ち幼児の心を  
与えられ、過去を全く清算して新鮮  
な出発をします。古い咎や、劣等感  
からの解放、神と人間とあなた自身  
と宇宙との不和睦の意識からの解  
放は、考え得る最も大切で徹底的な  
解放であります。「もし子があなた  
がたに自由を得させるならばあなた  
がたはほんとうに自由な者となるの  
である」。これこそ「ほんとうの」  
自由で、このようなものは他には絶  
対にありません。あなたは唯に過去  
から解放されるだけでなく、受入れ  
られるようになります。幼児は受容  
されています。新霊は受容の精神で  
す。今やあなたは人生を手一杯、全  
心を以て、全存在的に捉えることが  
できます。も早人生と取組むのでな  
く両手を抜いてそれを捉えます。指  
先まで生命に満ちて生きるのです。  
第三に「神の国、即ち新しい生活  
範囲に入らなければならない」の

です。あなたの環境は変わらないでし  
ようが今や同時に二つの世界（物質  
的關係の世界と神の国）とに住むこ  
とになります。この内的世界が全て  
の外的世界を新しくします。今やあ  
なたは全てのことを真意から、新精  
神から新しい見解から行います。私  
の知る最も信仰的キリスト者の一人  
が言うように「変った一事とは、あ  
なたの生きる理由であります。こ  
の新しい生活範囲の中で、あなたが  
自由意志を起す時、主は力を供給し  
て下さいます。人生はや早や独りで  
もがきつつ、緊張し、心配し、不安  
になる必要はありません。それはく  
つろぎ、解放され、安心し、受入れ  
られたものです。あなたは今早や単  
一原理ではなく協同計画によって生  
活しているのです。

以上をまとめると、第一歩で『新  
方向があなたのもとなり、第二歩  
で『新精神』が主のもとなり、第  
三歩で『新しい生活範囲』があなた  
と主のものとなります。これが回  
心というものです。

回心は第二コリント五章十七節に  
最も明確に述べられています。『誰  
でもキリストにあるならば、その人  
は新しく造られた者である。古いも  
のは過ぎ去った。見よ。全てが新し  
くなったのである。』

連盟は創始者の祈りによって...に生れたファミリーの全国的な交わりであつて、常に新しい家族の参加...  
発行所 東京都江古田編み部 高橋定一  
電話 03-3381-1111

アシュラム・ピン一個二〇〇円  
『イエスは主なり』のマーク

私がヒマラヤ山中で、神への自己放棄(サレンダー)を表現する目的について書いていた所へ、一人の精神病医が来ました。彼がまだ二十哩も遠くにいた時のことを述べました。「私は疲労と混乱で不眠の夜が続きました。死にそうでした。所が神へのサレンダーをした時突然に疲労と挫折は次々になくなり、私は新しい人になりました。私はまるで七足の不思議な靴をはいたように山々を一またぎにしてサト・タル(七つの泉・アシュラム発祥の地)にきました。私は前にこんな美しいサト・タルを見たことがありませんでした。」

彼は神聖な楽しみで陽気になっていました。神と和解した彼は自分自身、その肉体、兄弟たち、自然、人生、自分の精神とも和解したのでした。精神医学はも早やその技術において有力な誇高き自己満足を許されません。今やそれは人生に働きかける一点(キリスト)を持ちました。それは下僕であって、も早や主人ではありません。全生活がその位置に落着き、全生活が意識と意味とを総合し初めました。

言換れば『回心とはキリストを中心とする反作用であります。キリストを中心にするとき、あなたは回心します。自我のサレンダーがなされる時、神は欄外から動き出して中央の位置を占めます。神はも早や『欄外にぼんやり』したものでなく『焦点の動力』であります。ある人が言ったように『私は自分自身を主のすべてにさらします』その時、イエスは主であります。

行く道は次とあざみ生い繁る  
さあれわが主ぞ道と宣たもう。  
雨あらし激しく我を打つ日こそ  
忍びては待つ輝きの朝。

短歌「希望」

山根可弐

ナザレの町を再び訪れることができた  
私は感慨無量であった。国境では銃火が  
交えられているというのに、ここは何と  
平和なただ住いであろう。  
海拔七〇〇米の小高い岡の南斜面に緑  
の木々が茂る公園のように美しい町であ  
る。  
バビロン捕囚から帰還したエズラ・ネ  
ヘミヤの時代からナザレは平和なユダヤ  
人の村であったという。聖家族が、静か  
に過ぎた村として二千年間巡礼者たち  
の足が絶えることはない。

紀行

ナザレの村にて

海老沢 宣道

この小さい町に教会や修道院が三十以上もあるという。そのうち最も大きいのが町の中央に高く三角帽のような尖塔を聳えさせている世界第二の壮大な受胎告知大聖堂である。乙女マリヤが天使ガブリエルから神の聖子を宿すとの知らせを受けたという洞窟の上に、十字軍の時代から何度も建て変えられ、六年前一九六九年に第五回目の新会堂が落成したばかりである。広い敷地に塀で囲まれ、門衛が出入を監視している。正方形の会堂正面は薄クリーム色の大理石に現代風の彫りで天使とマリヤ、その下に四福音書記者の像が刻まれている。人口には米國と西独の寄贈による二枚の鉄扉があり、夫々に旧約と新約の人物や物語が彫刻されている立派なものである。聖堂内は二十人も坐ることができると、朝九時から夕のミサには、殆んど全部アラブ人の親子が数百名、敬虔に祈っていた。真中には鉄柵で囲んだ所があり、よく見ると床が階下と吹通しになっており、マリヤが告知を受けたという洞窟が見える。聖堂の左側には数枚の大きな壁画があり、こ

れも世界の国々から贈られたもので、その一枚が長谷川路加画伯の傑作「和服姿のマリヤと幼児イエス」であるのは日本人として嬉しい記念であった。  
聖堂の右手から階段を下りると、告知の洞窟の前に出る。勿論現在は美しく飾りつけられ、燭台の火がともされているその薄暗い部屋で、灯を見つめながらひざまづいてみると、どこからともなく天使の羽音が聞え、マリヤが『私は主のはしためです。お言葉通りこの身に成りますように』と祈り、『わが心は天つ神を尊み、わが魂、救主をほめまつりて喜ぶ』とうたうマグニフィカートの合唱が聞えるようであった。別の階段から会堂の裏手に出ると、そこには小屋があり、キリストが洗礼を授けられる彫像が立ち幼児洗礼所となっている。その床に二千年前の歩道の敷石が露掘されて見られるようになっていいる。あの石の上を少年イエスが歩かれたにちがいない。  
『緑も深き若葉の里、ナザレの村よ、  
汝が巻を、心清らに行きかいつつ  
育ち給いし人を知るや。』  
この聖堂のすぐ隣には、聖家族が住んでいた岩屋があり、その上に聖ヨセフ教会が建っている。入口の壁に美しい少年イエスが父の大工仕事を手助けしている絵がかかげられていた。告知教会よりずっと小さいと言っても数百名は入れる会堂である。その西に近くシナゴグ教会というギリシヤ正教の会堂があり、ここで主はルカ福音書四章にあるように安息毎に教えられたといわれる。

アシュラムの五大原則

(一) キリストへの明け渡し

## キリストの証言

増井芳雄

今年の道南アシュラムは、先日、地区委員長の白川鄭二牧師とお打合せをし、九月二十四、五日頃を予定しています。今回は東京から岡田実師を迎えて『訪問伝道』について退修したいと考えています。近く実行委員会が正式に決定されるでしょう。

今日の教会で最も問題となっているのは、キリスト観のちがいがら起っている混乱です。イエスは愛する弟子ペテロのキリスト観のあやまちを責めて「サタンよ、退け」と言われました。ペテロがあやまちを犯した原因は、自信過剰であったからです。彼はイエスを愛していると思ひ、それは確かであった、ただ人間の力でどんな事態でも処理できると信じていました。彼はイエスの評価以上に自分を高く評価していたのではないのでしょうか。私たちは、ペテロを冷たく非難してはなりません。彼に起った悲劇は私たちにも起りうる悲劇であります。ペテロは一度ならず三度までもイエスが主であることを否定しました。彼はイエスを裏切ったユダヤのように憎しみの冷たい心ではなく、燃えるような愛の心を持っていました。ペテロも私たちと同じように弱い人間でしたが、彼は主を愛していたのです。イエスへの愛が彼を殉教者「聖ペ

テロにしたのです。

イエスはある時、一つの問題を提起されました。それは今日的な意味を持っています。「なにゆえ学者らはキリストをダビデの子と言うか」と。イエスは詩篇一一〇篇一節を引用され『主はわが主に言われる、わたしの右に坐せよ』と。イエスはご自身がダビデの子であるのみならず、ダビデの主であると主張されました。イエスは真実主であったからです。イエスがここで言われていることは私たちの心から、地上王国の建設者になるような征服的な、政治的な、キリスト観を取り去り、人々に神の愛をもたらす神の僕としてのメシアの思想を与えようとしていられるのです。

イエスが十字架への道を歩まれている時ペテロのメシア観がまちがっていたために『サタンよ、去れ』と叱られました。イエスは彼にキリストの真実の意味を教え、また主がおびていられた任務について理解させ、その必要性を悟らせようとしたのであります。『イエスは主である。』との意味を真実に把握し、キリスト観を確立することこそ私たちの問題として最も大切なことだと思ひます。

(函館教会員)

## 東北地区第五回アシュラム

九月二四、五日青森県浅虫温泉にて、高瀬理事長を迎えて開く。詳細は那山教会内、村上東委員長(那山市清水台二ノ六ノ四)に問合せられたい。

## 各地だより

## 第十回四国アシュラム

四国地区委員長

宇都宮 充

第十回四国アシュラムは七月七—九日の三日間高瀬恒徳師を協力者に迎え松山済美会館で開催された。九月下旬から十一月末頃まで私が不在になる為、八・九月には是非やって置くべき年中行事が重なり、よくない時期と知りながらも今回のアシュラムを早々に断行した次第である。果せるかな、集る者は二十五名という少数で、最初はその数にこだわったが出席された方にはアシュラムの経験者が多く、また神に対する飢渴きを以って参集したので、神は彼等のニードに答えて深く掘り下げられた恩寵豊かな集いとなり、数の少いことが、かえってアシュラム精神の浸透ともなった。

高瀬師は第一回ではアシュラムの意義と歴史的由来を説明し創始者スタンレー・ジョーズの生涯につき語り、第二回は現代教会で忘れられている初代教会からの伝統である分ち合い(シェアリング)を提唱し来談者を求めて第二夜をもった。第三回には五大原則の一つである静聴(ヒヤリング)につき述べ、それは第一に神から為すべきことを伺うこと、第二には他の人のため執成しをすること、第三、必要なものを御願いすることであ

- (三) 聖霊の啓導と充滿
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

るという深い感銘を与えられた。

最後の充滿の時には、参加者が次々に証言をした。「聖書を読んでいても容易に理解できなかったが神の御命令をきくべきである。主が呻きを以ってとりなしておられることに驚嘆した。」

「一つの解決に苦しみ、それを如何にすべきかと迷妄を以って出席したが神の御霊に導かれるものは神の子でありキリストと共に神の相続人であることを知った。キリストと共に十字架にかかる覚悟で事に当る決心が与えられた」

「深く御言をきくことに心を注ぎ出して祈ること、我に分ち合うのは御言のみでなく罪の告白と赦しとを告白すべきを学んだ。アシュラムの偉大さを知った。」

「神の御言と共に神の命令に従えとのおすすめを初めて聴き驚き新しい光を与えられた。これからは神の命を至上命令として主に従う決意である。我らは主のために己の生命をもすすべきである」と決心した。」

「初めてこうした超教派のアシュラムに出てこれまで積極的でなかったことを反省しておる。分ち合い、静聴なども御言の深さと聖霊の重さを感じアシュラムの意義を悟った。」

「自分は育ちの悪い信者である。これからは特訓をうけて分ち合いや静聴を自分でやりたい。」

等々すばらしい証言と告白とが相つぎ、如何に深く神に導かれたアシュラムであったかを心から感謝した。来会者の一人が次の詩作をしてアシュラムを賛美された

静かな朝に

能 美枝子

○ 静まりてわれきく  
主語り給う

○ 静まりてわれ祈る  
主応え給う

○ 心にみつる  
この平安と喜びは  
いづこより来るや

○ 天地創造の神よ  
わが内に在すまよ  
わがすべてのすべ  
わが生命の生命

○ 共に語り、共に祈り  
共に分かち合う  
静かな朝の  
この恵みよ

(一九七五、七、九 朝)

関東の第十四回アシュラム

十月九—十一日 福音の家で

今年度は『聖霊における喜び』(ロマ人への手紙十四章十七節)をテーマにして横山義孝、中村武、帆足誠、岡田実、海老沢宜道の五委員を助言者として開催することになった。その他全委員は分団の座長その他の役を分担する。委員会は春以来毎月一回集まって共に祈り、啓示の下、打合せを重ね、関東地区全域にわたって広く参加者を招きつつある。なお開心の時から充滿の時を迎える間の各セッションの祈りの目標は次の通り。

一、聖霊による明渡し、二、聖霊による改変、三、聖霊による奉仕、四、聖霊

による立証、五、聖霊による充滿。

参加申込は、川口市西青木一ノ二五ノ

二一、西川口教会、横山義孝委員長。

関西の第十回アシュラム

十一月にシオン・ロッジで

関西地区は十一月二三日(日)午後二時から二四日午後四時まで、吹田市千里山シオン・ロッジで一泊二日間開く。

礼拝(中路嶋雄) 開心の時(後宮俊夫)

ファミリー・アワー、夜の祈で第一日を

終り、翌朝の祈り(上山牧羔)、黙想の時(平方美代子) 分かち合い(西条初栄)

聖書(辻中昭一) 充滿の時(杉田常夫)

閉会礼拝(金元治)の諸委員分担で日程が進められる。委員一同の祈りに応じて

京阪神各地から多数参加を期待する。

申込は大阪市北区神山町七九、扇町教会内、中路嶋雄委員長。

東京城北アシュラム(第五回)

池ノ上教会献堂五周年記念

城北アシュラムは十一月二三日(日)

朝礼拝から献堂五周年を記念して特別集會を開催しようとする池ノ上教会に祝意を表して、第五回アシュラムを共催することとなり、高瀬理事長、岡田実、海老沢宜道、大久保進の諸師が、山根可式牧師を補佐して、朝拝、午後の開心、恵の時立証、翌二四日の静想、聖書、充滿の時を分担担任する。

池ノ上はもちろん、新宿西、中野パブテスト、江古田その他各教会有志の参加を期待している。

九州地区第十回アシュラム

九月二—四日二泊三日間、福岡市

西南山の家にて榎本保郎師を迎えて開く予定。問合せは北九州市門司区藤松一ノ二一ノ二〇、山本繁夫委員長。

第二三回江古田リトリート

八月九日(土) — 十一日(月) まで軽

井沢のペテル・ハウスで二泊三日間、「祈りの生活」を主題に、横山義孝牧師を迎え、海老沢宜道、G・W・クレーラ、小

川忠夫の諸師協力して、アシュラム様式の修養会を開く。どなたでも参加歓迎。

申込は東京都中野区江原町三ノ一九、江古田教会リトリート係まで。

報告

○ 第四回城北アシュラムは既報の通り去

年一月十五日中野パブテスト教会に開催、「新生」を主題として山根、大久

保、海老沢の三師協力、参加四〇名で感謝のうちに充実した一日を守る。

○ 第一回新潟アシュラム、去五月二五・

六日長岡市に開催、横山義孝師応援された出席二〇名。同地区にも靈交が及んだことは感謝の至り。

創始者ジョーンズ博士記念

三大事業への献金募集中

いよいよ切迫

故スタンレー兄弟にアシュラムを教えられた世界の友は、生前希望された仕事の中左記三つを記念事業として実行することに決定、予算六〇万ドルを計上した

▼ 第一、世界アシュラム・センターをガリラヤ湖畔に建設。

▼ 第二、アシュラム未開国への活動費。

▼ 第三、発祥地サト・タルのセンター強化とクララ・スエイン病院の増築。日本連盟もこれに参加、目標を一万ドルとした。

◎ 送金方法 振替 東京五〇二五九(名儀、江古田教会) 利用、「ジョーンズ博士記念献金」と明記御払込み下さい。

記念事業の献金報告

第八回(七五年四月—七月)

◇ 一万円 新宿西教会(関東)

◇ 一万円 海老沢宜道(関東)

◇ 一万円 崎浜朝成(高座関東)

◇ 一千元 柴田正道(新宿西教会)

合計(四件) 金二六、八〇〇円

累計 金二、〇三五、八〇〇円

目標まであと百万円足らずです。今年度末で切りたいと思います。全国同志の御協賛を再びお願い申し上げます。

◆ 連盟を支える力

昨年十二月以降七月までに連盟の仕事を支えるために各地区から左の協力献金が寄せられた。感謝の至り。

道南地区(四九年度) 四〇、〇〇〇円

関東地区(前年度追加) 二〇、〇〇〇円

関西地区(四九年度) 五〇、〇〇〇円

四国地区(五〇年度) 一一、五〇〇円

◆ 有志の賛助献金

昨年度は鈴木留蔵兄が金五万円を寄せられたが、今年度は山根可式理事、海老沢理事が各一万円を寄せられた。尚、全国有志から続いている御賛助をお願いしたい。

▼ アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れ

所収 12 付 道 徳 50円

「アシュラムとは何か」(50円) 「一日アシュラムの守り方」(30円)